

令和3年度岩瀬きゅうり担い手育成事業研修成果報告書

研修生氏名：

鈴木 徹

1 研修動機

私は農業についての知識も経験もありません。そんな私が何故、きゅうり栽培の担い手育成の研修を受講したのか。それは自宅に届いた一冊の須賀川市の広報紙から始まりました。普段はめったに読まないですが、その時はなんだかとても気になり手に取って読んでいました。表紙には去年の卒業生の吉田さんの写真が、研修先での様子が掲載されていました。その吉田さんの笑顔がとても印象的で農業って楽しいの？そんな気持ちになりました。

その後、気になった私は農政課を何度か訪れ、職員の方と話を重ね、須賀川市できゅうり栽培の担い手を育成する研修制度を知りました。研修を受けるにあたって、その期間の収入面が問題でしたが、須賀川市の研修制度では賃金を受け取りながら研修を受けることができ、就農するのであれば須賀川の土地でという想いとも一致し、受講したいと思い研修に応募しました。

2 研修生となって

(1) 初期

農業未経験だった私は、専門用語や農業で扱われる機械名や農作業の名称・用語を理解し覚えるのに苦労しました。須賀川市といっても岩瀬地区は訪れたことがあまりなく、場所と地区名が全く分からずメモを取る日々が続きました。

農作業も農業機械全般はもちろん、刈払機ですら持ったことなく初めて動かした時は恐る恐る作業した記憶があります。それらの研修においても公社の先輩の方々の親切な指導により初めは不安でしたがそれも無くなり非常に有難かったです。

(2) 中期

ア 露地栽培研修

露地きゅうり栽培研修が四月下旬から始まりました。露地きゅうりでの定植時期は五月下旬が多いがそうです。研修先ではハウスでの抑制、促成栽培の合間に露地での栽培をするそうです。既に露地きゅうりの定植の圃場準備はできていま

した、露地きゅうりの定植に参加できとても勉強になりました。ただ、きゅうりの苗を手植で定植するのにとても体力と忍耐力が必要だと感じました。何度も心が折れそうになってしまいそうでしたが、研修先の方々の親切で温かい対応が非常に嬉しく思いました。私も研修先の農家さんのように親切で温かい人になりたいと思いました。

イ 公社業務研修

この時期は露地きゅうり栽培の研修が中心で、公社での業務研修は少なかったですが、宇津峰山梅林自然公園での草刈り作業が印象に残っています。作業の合間に宇津峰山から見える景色がとても絶景で、とても清々しい気持ちになった思い出があります。刈払機の扱いも少しずつ慣れていき、自分の成長を感じたのもこの時期だと思います。

(3) 後期

ア 露地栽培研修・施設栽培研修

六月下旬、七月中旬は曇雨天が多かったです。その影響で病気が発生し、思うように収穫できなかったです。梅雨が明けてからも猛暑とゲリラ豪雨が続き、成り疲れ等で草勢が低下し、これもまた思うように収穫できませんでした。

八月になり一番の収穫時期に長雨と曇天で病気が一気に広がり、思うように収穫できませんでした。今年は早い時期に生産を終えてしまうきゅうり農家さんが多かったです。露地栽培では天候で左右されてしまいます。

その時の対応、対策がその後の収穫量に繋がっていく、自然なのでしょうがないと思いますがとても難しいですけど、そこにやりがいを感じました。

イ 公社業務研修

実地研修も終了し、後期は公社での作業が中心になりました。公社で行った収穫作業・農産加工(大豆選別・味噌製造等)を通して、農業に関する知識とスキルを身に付けました。特に、大豆加工にはとても興味を持ちました。豆菓子や味噌といった商品ができ、これからの農産物の6次化に是非役立てたいと思いました。この経験を就農後に活かしていければと思います。

3 研修機関での研修

今年もコロナ感染対策をうけ各種研修会が中止になり参加することが余りできませんでした。それでも研修先の方々の御力で開いていただきとても感謝しています。

農業短期大学校での研修では、農業機械の操作や整備について学び勉強になりました。農作業の安全性の重要性、対策について学びました。農機具は扱いを誤れば、大きな事故に繋がってしまいます。死亡事故にも繋がります。より一層気を付けて作業していこうと思いました。農業普及所主催での「きゅうり基礎力アップ研修会」、若手農家さんが中心で私のような初心者の人にも親切、丁寧にきゅうりのいろはを学べてとても勉強になりました。同世代、同じ気持ちを持った方達と意見交換ができる場所は非常に大切であり、この様な所に積極的に参加していきたいと思います。

4 研修を終えて(※研修期間全体を振り返って)

初めは不安もありましたが、公社の方々、研修先の方々に非常に恵まれ、最後まで楽しく研修することができました。農業に関する基礎的な技術・知識、精神をこの研修で学ぶことができました。研修先での地域の人達との繋がりを持てたことは非常に大きく、今後の農業に大きく役に立つと思います。

しかし、露地きゅうり栽培においては今年(1シーズン)しか経験していません。基本的な土作りや耕耘作業、元肥・追肥作業等の経験が乏しいです。就農後は地域の先輩方に相談しながら進めていきたいと思います。自分の農業のスタイルを確立していけたら良いと思います。

5 就農展望

就農後は、先ず研修先で習ったことをもう一度復習し、露地きゅうり栽培での生育、管理、収穫を実行する。また、露地きゅうり栽培と並行して秋冬収穫の作物の育苗、管理、収穫をしていきたいと思います。露地きゅうりだけでなく他の作物栽培にも取り組んでいきたいと考えています。様々なことにチャレンジし、研修で学んだ経験と地域の方々との交流を大切にして、自分の思う明るく楽しい農業の未来を築いていきたいと思っています。本当にありがとうございました、一年間お世話になりました。